

たわわ



NPO 法人地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2012年9月30日

125号

NPO 法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

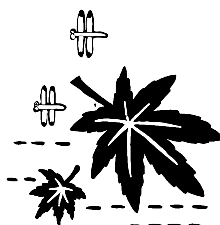
TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

たくさんの課題を抱え秋到来！

熟考せられる新しい選択

——誰もが一人ひとりの個性を尊重され普通に生きること——



季節の移り変わるころには、なんとなく心が浮き立つものはありませんか。

冬から春へ、春から暑いけれど楽しそうな夏へ、そしてちょっと気が引き締まる充実感のある秋です。誰もが忙しく、季節などなくなってしまったような昨今ですが、そんなかすかな変化を大切にしたいと思ってきました。

* * *

猛暑のなか、今年は夏休みを利用した活動ホームの全館リフォームが行なわれました。

入り口のドアを防風のためもう一つ取り付け、事務コーナーをすこしひろげました。壁紙、床、電気、ガスエアコンの取替え等々と、夏休み後もよその施設をつかったり、土日を利用したりと工夫して。長く掛かりましたが、“出来立て”の頃のように明るくなりました。

そんなこともあって、障害者たちには、落ち着かない、一層厳しい季節でしたが、無事年中行事の旅行もすみ、いよいよ秋になります。

「活動ホームしもだ」秋まつりのお知らせ

「支える会」のバザーも多彩に出店！

「地域活動ホームしもだ」恒例の秋まつりが行なわれます。

午前中は、ひとみ座の人形劇『おやゆび姫』、

午後は大道芸人『ムーア』の自転車曲乗りなどがあります。

庭の駐車場で、コスモス工房・青年クラブと一緒にガレージセールを行います。

いつも「地域で生きる障害者を支える会」のバザーが大好評です。ぜひおでかけください。

期日：10月27日（土）10：00～

◇たくさん話しましょう！

この秋、私たちはたくさんの課題を抱えています。7月、啓発事業の写真展と増刊号の出版がおわり、夏の活動ホーム改装のあれこれが済むと、いよいよ懸案の課題がせまってきました。

グループホームは、B型移行への議論。活動ホームでは新作業所設立の検討。「地域で生きる障害者を支える会」の家族会も、この秋はいろいろ話し合う機会がふえそうです。

皆で集う事、そして、これまで私たちが大切にしてきたことを振り返り、新たな活動をするなかで、(平均年齢が高くなっても)、それなりに頑張っていきたい、と意気軒昂!! です。



◇もうひとがんばり...

「障害があっても、一人ひとりの個性を尊重し、他の人々と同じように生き生きと暮らしたい」そして重い障害があっても、その人に必要な支援があれば、親たちから自立して生活ができる事を、会員の皆さんの応援とともに、10年の実践の中で確かめてきたと言えます。

しかし、家族もスタッフたちも一丸となって、力を合わせてきましたが、まだまだ道半ばといわざるを得ません。私たちが、より安定し安心な形に近づくことは、これから続く仲間たちへの道作りにもつながるのだと思います。もうひと頑張りですね。

◇生きる権利ということ

最近、重度障害の人たちを懸命に育て、支えてきた私たちにとって、見逃す事のできない話題がありました。一つは、出生前検診、もう一つは超党派の議員連盟で考えられている尊厳死法案です。いずれも人の生死にかかわる大変重いことで、賛否両論あることですが、障害者や患者のサイドに立てば、おのずとわかるのではないのでしょうか。

さらっと通り過ぎてはいけない、みんなで話してみたい事だと思っています。

出生前検診は、まさに「科学もここまで来たか」と思います。日本にも専門のクリニックもありますが、これによって判っても、障害を持っている子どもを生むのかどうか。親は、たいへんな選択の苦しみを負うことになります。(アメリカでは障害によって99%の確立で簡単に診断できるようです。)

尊厳死法案(終末期の医療における患者の意思の尊重に関する法律案)も、どの立場に立って考えるかです。“終末期”の規定にも問題がありそうですが、社会の介護や福祉体制が不十分だったり、家族たちの負担を考えて、生きることを諦めていくのだとしたら、やっぱり諦めさせられるのだとおもいます。誰でも、同じように普通に生きていく権利があるわけですが、それを支える社会福祉の仕組みが整わなければ、保障されているとは言えないのだとおもいます。

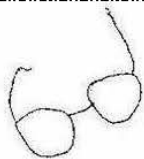
ご入会・ご継続ありがとうございました

<賛助会員>

(敬称略)

直井真喜子	高畠 幸子	松山伊智子	宮 邦子
栗原 紀子	飯田 静子	稲本 典代	





めがねの声

◇ステキな映画をみまし

た

この前『マイ レフト フット』という映画をみました。

外国の脳性麻痺の人の、生まれてから成長するまでの話で、この本を書いた人の体験だったのではないかと思います。

私は 字幕がほとんど読めないの、あとで母にすこし説明してもらいました。でも私ももっと重い障害なので、画面だけでも半分は理解できたかなとおもいます。

心にのこったのは、階段からおちたお母さんを必死に助けた場面や、たくさんの兄弟や近所の子どもたちと一緒に遊ぶ場面はいいなとおもいました。車の付いた木の箱に載せられて走り回ったり、地面の上を転がってボール遊びをしたりしていました。

私は、いつも書くことですが、たくさんの家族や、多くの人たちと、いろいろな体験をする事が大切だと思います。

また、主人公の彼は、途中から生活の訓練を受けるようになりました。特に言葉の訓練は、ストローを使ったり.... 私と同じようにいろいろ訓練したなどと思ってみていました。彼ははじめから少し声が出ていたので、話せるようになりました。うらやましかったです。言葉が出ないと、文字で伝える事も、文を読む事も書くことも大変です。

私は、グループホームに入ってから、お話ができないことが一番困りました。

* * *

言葉の障害が軽くても、重くても、心まで伝わると言うのは、難しい事です。

映画では、大好きな先生が結婚すると聞いて、がっかりして気持ちが荒れたところがありました。

私も、励まされて、たくさん話をして、友達としていろいろわかってもらって、やっとすぐに話が通じるようになって、いろいろなことで「サヨナラ」しなくてはならないようになる人も、多いです。相手の人が結婚したり仕事を変えたり、学生だったら就職をして遠くに行ったり、いろいろですが、そんな時、私はずっと心の中で泣いています。

死んでしまうのではないからと思うのだけど、自分と関係ない世界に行ってしまうということが寂しい。電話はできなくても、手紙やメールを出す事はできるのに、置いていかれるようで、分かれたくないという気持ちはつらいです。

* * *

この映画は、言葉はわからないことが多かったのですが、私も同じ脳性まひ者で、生活の訓練をしたり、書や絵を描くことが好きなので、なんとなく想像する事ができました。

主人公は、たくさんのつらい思いや大変な思いをしますが、絵をかいて個展を開いてもらったり、本を書いたり、好きな人と結婚もします。

私も、いろいろな人に出会って教えていただいて、パソコンを覚え、お花や、革工芸をしたり織物もしています。それは、健常な人から見るとほんの少しの事です、私はじぶんでも、考えるとびっくりすることがありますし、とても幸せだと思っています。

大原友子

しもだの旅行

「ねえ、旅行、どこへいくの？」

暑かった夏が終わり、めっきり涼しくなりました。

9月、よつばホームのメンバー（しもだ通所のメンバーのみ）は活動ホームしもだの旅行に参加しました。コスモスグループの福田さんは河口湖へ、よつばグループの面々は三浦方面へ！

最初のセリフは旅行を楽しみにした入居者さんのものです。

「〇〇さんは三浦に行くんだよ！」と返事をしても、何度も何度も「どこいくの？」とスタッフに繰り返し尋ねてきます。

年に一度の大旅行、いてもたってもいられないんだよね！



旅行の準備は大変です。

着替えや普段の薬はもちろん、各自欠かせないものがたくさん！

「これ一週間分！？」ってくらいたくさんの荷物を用意しなくてははいけません。

しかしこれも楽しい旅行に行くため、このくらいは周りも本人もへっちゃらなのです♪ 当日は天候にも恵まれ、楽しい旅行となったようです。

グループホームのスタッフは旅行についてははいませんが、旅の安全とみんなが楽しい思い出作りができることを祈りました。

近所の回転寿司屋さんへ

汗だくになりながらも、港北インター近くの回転寿司屋さんに行ってきました。

回転寿司屋さんと言っても、ケーキやうどんなど、お寿司以外のメニューがいろいろあって楽しそうなお店です。

出来上がったお寿司は『新幹線』に乗って届けられます。

タッチパネルにタッチして4種類ずつ注文するのですが、タッチパネルの操作がちょいとめんどくさい…、あ～食べようとしたメニューの画面が消えちゃったあ(>_<)、食べたい物じゃないのに画面に指が触れたら注文されちゃったあ(*_*)

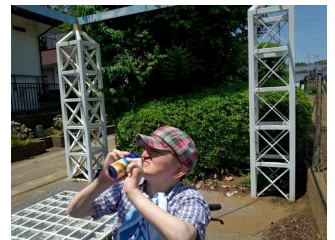
そんなこんなを繰り返し、何とか好みの食べ物を、注文完了！

唐揚げにラーメン…（ここ、寿司屋さんなんですけど…）個性丸出しの注文をして、みんなでいろんな物を味見しました。

追記：食後『今日食べた物で何がおいしかったですか？』という質問をしました。

Sさん『ラーメン!』Jさん『唐揚げっ』って答えが返ってきました…。

付記：もちろん、お寿司もおいしくいただきました。(*^o^*)



花岡さん阿部さん誕生日

7月に第2よつばホームの阿部健市さんが、8月にはよつばホームの花岡さんが誕生日を迎えました。みんなからお祝いの言葉をかけてもらいますが、シャイな阿部さんはずっと照れ笑い…♪ 花岡さんは満面の笑顔☆ Happy Birthday♪ (*^.^*)エハッ